

尾道市立大学附属図書館 新館 2025年度完成予定

尾道市立大学美術館

地域総合センター

尾道市立大学附属図書館

情報処理研究センター

教職支援センター

国際交流センター

医務室・学生相談室

キャリアサポートセンター

Various Facilities **各種施設**



2024-2025
Museum of Onomichi City University
MOU

2008年、尾道市立大学美術学科教育・研究プロジェクトとして、MOU尾道市立大学美術館における展示企画をスタートしました。以来、当館では本学美術学科・研究科学生、卒業生及び教員を中心に大学における教育・研究成果を様々な角度から発表してきました。



カリキュラム - 授業作品展 -



DANCE, such as / 油画3年次 進級制作展



ワークショップ



第18回 大学院美術研究科修了制作展



アーティストトーク



MY FAVORITE THINGS —野崎眞澄退任展— / トークイベント

2024年度のスケジュール

7月開催の「Curriculum－授業作品展－」では、現在の大学のカリキュラムを網羅的に紹介。8月には油画コース卒業・修了生4名による自主企画展「遊びをせんとや生まれけむ」、10月の卒業生の活動に焦点を当てる企画「In Focus（インフォーカス）」では、それぞれの領域で活発に創作活動を展開している3名の作品を紹介。12月には「岸む音／際の上：Murmuring Shores / On the Brink」を開催。シンガポールの作家達は、展覧会前に小林和作旧居にてアーティスト・イン・レジデンスに参加し、作品制作を行う予定です。他にも、授業と連携した3企画を開催。大学院美術研究科「進級制作展」のほか、油画コース3年次「進級制作展」、デザインコース3年次「地域プレゼンテーション課題」では、展覧会の一連の流れや展示作業についても学生が主体的に取り組めます。年度末には開学以来、大学として収蔵してきた卒業・修了制作や歴代退任教員の作品群を紹介する「所蔵作品展」を開催予定です。



尾道市立大学美術館
浦崎 葉子

尾道市は商都として約850年もの長い歴史を有し、古代から現在に至るまで様々な文化を育んできたまちです。旧市街地を歩くと、あらゆる時代が混ざり合った不思議な魅力のあるまちであると感じることが出来ます。この地を何度も訪れる観光客が多い理由は、「まだすべてを見ていないのではないか」とか「何度も来ているはずなのに、ここは来たことがない」など、市街地や斜面地の路地が複雑に絡まったラビリンスに魅せられているからなのかもしれません。新たな店が不思議な場所に突然登場するのも、また、時を経るとその店が次第に尾道の風景として馴染んでくるのも、このまちの持っている歴史の融合感覚といえます。

そんなまちにある尾道市立大学の理念の一つに地域貢献があります。地域社会との連携は開学以来取り組んできた本学の大きな特徴と言えるでしょう。そのなかで、学生と教員の長期間の取り組みで花開いたプロジェクトも少しずつ増えてまいりました。地域貢献活動の成果は、参加した学生達の糧となっていることは言うまでもなく、社会に出てからも、それらの経験がそれぞれの活躍の場で役立っています。学生たちが地域貢献を行うなかで得た知識や経験は、様々なコミュニティとの関わり、つまり基礎的社会力養成にもつながっていると確信しております。



地域総合センター
高垣 美晴



教養講座



尾道学入門



尾道文学談話会広報物



教養講座広報物

2023年度受託研究(抜粋)

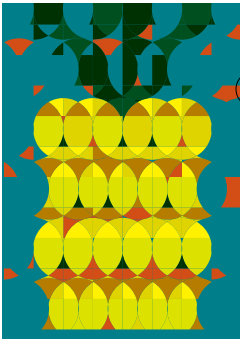
紙製エコファイルデザイン制作

研究期間：2023年4月～9月
依頼元：株式会社小山オフセット印刷所

担当教員：世永逸彦（尾道市立大学名誉教授）
参加学生：3名



美術学科4年 島亜美



美術学科4年 平方優希



美術学科4年 溝口有希

水道100周年記念ロゴ制作

研究期間：2023年9月～10月
依頼元：尾道市上下水道局
担当教員：世永逸彦（尾道市立大学名誉教授）
参加学生：3名



美術学科4年 松崎菜月

株式会社京泉工業 50周年記念ロゴ制作

研究期間：2023年4月～6月
依頼元：株式会社京泉工業
担当教員：世永逸彦（尾道市立大学名誉教授）
参加学生：3名



美術学科4年 小笠原実穂

アート偏光板を活用した地域活性化企画提案・モックアップ制作

研究期間：2022年4月～2024年3月
依頼元：日東電工株式会社尾道事業所
担当教員：桜田知文（美術学科教授）
林宏（美術学科准教授）
参加学生：2名



美術学科4年 堀愛深



美術学科卒業生 福谷有美香

ほか4件
受託研究6件 受託事業2件 計8件

2023年度 開催講座(主催)

尾道学入門公開授業(全7回)

2023年5月～7月開催
講師：大谷治、村上遼、幸野昌賢、豊田雅子、真野洋介、寺嶋雅人、大谷悠(すべて外部招聘講師)

尾道文学談話会(全5回)

2023年5月～9月
講師：芸術文化学部日本文学科を中心とした本学教員、外部招聘講師

教養講座(全3回)

2023年10月2日、17日、31日
第1回 宮谷聡美(日本文学科教授)
『『源氏物語』を読んでみるー「帚木巻」ー』
第2回 森本幾子(経済情報学科教授)
『地域社会が変わるときー江戸時代尾道を訪れた旅人の役割ー』
第3回 西村有未(美術学科講師)
『油彩技法とその変遷』

2023年度 開催講座(共催)

経済情報学部小川ゼミスベシャル

2023年4月8日開催
「哲代おばあちゃん講演&トークショー」
講師：石井哲代(『102歳、一人暮らし。』著者)
小川長(尾道市立大学名誉教授)

経済情報学部小川長教授退職記念最終講義

2024年2月10日開催
「ボクが学者として考えてきたこと」
講師：小川長(尾道市立大学名誉教授)

尾道市立大学『尾道の「顔」ー町としてのイメージ形成ー』研究会

2024年2月28日開催
「公開研究会 尾道の町の顔」
講師：藤本真理子(日本文学科准教授)、森本幾子(経済情報学科教授)、吉田宰(日本文学科講師)

2023年度 開催講座(協力)

尾道市立大学情報科学研究会

「ウェブ調査再考：ウェブ情報資源の可能性と課題」
2023年12月7日開催
講師：岡本真(外部招聘講師)

第21回地域プレゼンテーション課題

展示会 2024年2月22日～3月4日開催
発表会 2024年3月2日開催
芸術文化学部美術学科デザインコース3年生

尾道市立大学コンピュータ公開講座

「After Effects でモーションタイボをつくってみよう」
2024年3月16日開催
講師：黒田教裕(美術学科准教授)

本学附属図書館は、久山田水源地のほとりにあって眺望にすぐれ、また山を背にして読書や学修に好ましい静謐な雰囲気を得ています。

附属図書館では、本学の各学部学科の学生の学修や教員の研究に対応できるよう、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料・古文書・電子ジャーナル・データベースなどの資料があり、各種メディアの利用により、学修・研究・就職活動等に活用されています。学術分野だけでなく、小説や趣味に関する本などもあり、多く利用されています。

また、希望図書リクエストサービスや、文献複写・借用図書申請など、Webを使って手軽に申し込みできるシステムを備えています。調べもの相談などのレファレンスサービスも随時受け付けており、これらは多くの学生に活用されています。他の図書館等が所蔵する雑誌論文が必要になった場合など、遠慮なく受付で尋ねて下さい。

思索のための理想的な空間を大いに利用して本を読み、情報を収集し、学修や研究を進めて行ってもらいたいと願っています。また、研究・自主学修に限らず、「憩いの場」としても附属図書館を役立てていただきたいと思います。

現在、新館建設をおこなっています。(2026年10月開館予定)



尾道市立大学附属図書館
岡田 匠亮

高橋玄洋記念室

本学の前身、尾道短期大学一期生で、NHK連続テレビ小説「蘭子ひとり」(視聴率55.2%を記録)など多数の人気番組を手がけた脚本家・高橋玄洋氏の著作、脚本、映像、絵画、書、焼き物、書簡、写真など約870点余りの貴重な資料を展示しています。



下垣内文庫

近世地方俳諧の研究者である下垣内和人氏から寄贈を受けた計約3100点の近世俳諧資料です。これらの資料は、下垣内氏が長い年月をかけてこつこつと集められた、江戸時代から明治時代にかけての俳諧資料であり、地方俳諧の資料としてこれだけ大部に揃えることは難しく、たいへん貴重なものです。



一枚摺・可菴夏興『夕蟬や』



松本幸四郎・市川高麗蔵口上



一枚摺・梅室秋興『夕かぜは』



一枚摺・三石七回忌追善『梅にわれ』



一枚摺・羅風夏興『螢火の』



外観



書庫内



1階フロア



美術閲覧室
(マンガコーナーが設置されています)



尾道関連資料コーナー

尾道関連資料コーナー

尾道ゆかりの資料や、本学教員の著作、本学卒業生・在学生の著作などを収集し、自由に閲覧できるコーナーを設置しています。

また、その他に英語多読コーナー、仕事関連コーナー、展示スペースなどもあり、活用されています。

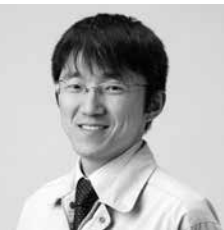
情報処理研究センターは、コンピュータや通信ネットワークなどから構成される尾道市立大学の情報システムを効率的に管理・運営し、教育・研究・教務の情報技術による高度化を推進するための機関です。

2023年10月の情報システム更改では、ノートパソコンやスマートフォンを携行する学生のため、キャンパス内のWi-Fi拡充、メールシステム等のセキュリティ強化、利便性向上を図りました。

また、進化し続ける情報社会に対応したセンターを目指しており、地域貢献と研究活動の推進などを目的として、コンピュータ公開講座や情報科学研究会なども開催しています。



第35回 情報科学研究会（2023年度）



情報処理研究センター
田上 憲二

設備・サービス一覧

- 情報設備
サーバ：4台（仮想サーバ：37台）、Windows PC：88台、iMac：40台
貸出用ノートPC：Windows PC、MacBook
パソコン室（翠明館自習室）：平日22時、休日20時30分まで利用可
パソコン対応教室：中講義室（225座席）1、小講義室（120座席）2
- 提供サービス
SINET への接続による高速インターネット通信の提供
ポータルサイト（授業情報等の連絡、履修登録など）
学生証（ICカード）による、図書、出席管理、印刷システムの利用
Wi-Fi（学内115箇所にアクセスポイントを設置）
オンデマンド印刷（4箇所、12台設置）、クラウドメールサービス
学外からのVPN接続、Microsoft Office、ウイルス対策ソフトの配布
当センターホームページによる情報システム利用マニュアルの公開
- 人的サービス
専門性に優れた上級生・大学院生をシステム運用補助員に採用し、学生の質問等にすぐ答えられる体制をとっています。時間外でも、平日は翠明館のパソコン教室及び自習室を午後10時まで開放し、予習・復習の便宜を図っています（休日（土日祝）は午後8時30分まで利用できます）。

2023年度 情報処理研究センター主催行事

- 年度初めの新入生情報セキュリティ講習会（ビデオ オンデマンド方式）
2023年4月7日～2023年4月14日
「情報モラル編」
南郷 毅（経済情報学部 教授）
- 第35回 情報科学研究会（対面）
2023年12月7日 13：10～14：40
「ウェブ調査再考：ウェブ情報資源の可能性と課題」
岡本 真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役）
- 情報セキュリティ講習会（対面）
2023年12月14日 13：10～14：40
学生向け：「情報モラル編＋日常のセキュリティ編の一部」
南郷 毅（経済情報学部 教授）
2023年12月14日 14：50～16：20
教職員向け：「日常のセキュリティ編」
南郷 毅（経済情報学部 教授）
- コンピュータ公開講座（対面）
2024年3月16日 13：00～17：00
「After Effectsでモーションタイポをつくってみよう」
黒田 教裕（芸術文化学部美術学科 准教授）



教職支援センターは、教員を目指す学生を支援する機関です。運営委員を担当する各学科教員が教職課程全般のガイダンス、授業の履修方法や計画の指導、介護等体験や教育実習等の指導を行っています。また、例えば「自分は教員に向いているのだろうか」というような相談にも応じています。キャリアサポートセンターとの連携も行っており、公立学校の教員採用試験、私立学校教員公募、臨時的任用教員や非常勤講師の募集情報等の発信も行っています。

C棟1階にある教職支援センターのブースでは、教科書、教育新聞、教員採用試験情報誌、参考書、問題集等を整えています。教員採用試験対策に各自が取り組めるようにオンライン学修教材も導入しています。模擬授業や教育実習授業で教材作成が必要となったときに活用できる用具も取り揃えています。

本学で取得することのできる教員免許状は以下の通りです。

- 〔経済情報学部 経済情報学科〕
高等学校教諭一種免許状（情報）
高等学校教諭一種免許状（商業）
- 〔芸術文化学部 日本文学科〕
中学校教諭一種免許状（国語）
高等学校教諭一種免許状（国語）
- 〔芸術文化学部 美術学科〕
中学校教諭一種免許状（美術）
高等学校教諭一種免許状（美術）

*なお、商業、国語、美術については、上記の一種免許状を取得した上で、本学大学院各研究科を修了し、所定の単位を修得した場合はそれぞれに応じた専修免許状を取得することができます。

国際交流センターは尾道市立大学における国際化を推進するため2011年に創設され、教職員13名で運営されています。主な業務は、学生の海外語学研修参加に対するサポート、外国人留学生の迎え入れや海外協定校との共同研究体制の構築などです。

また、海外の大学との学術交流も意欲的に行っています。これまでに、中国、台湾、ベトナムの大学計11校と交流協定を締結しました。

さらに、日本人学生と外国人留学生が相互に友情を育むための様々な異文化交流イベントの企画・運営や、外国人留学生が日本の生活習慣や環境に順応し、充実した留学生生活を営めるよう、授業や日常生活に対する支援をしています。

このように様々な活動を通して、尾道市立大学をグローバル志向の学生が在籍する国際的教育機関に発展させたいと思っています。



国際交流センター

KOBAYASHI Dawn

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「海外語学実践Ⅰ」「海外語学実践Ⅱ」

研究題目：教育心理学、自己効力感、コミュニケーション能力、パフォーマンスを用いた英語学習

指導目標：授業で学生がコミュニケーション能力を身に付け、留学や国際的な活動に関心を持つことを目標にしています。



国際交流センター

KLOEPFER Thomas

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」

研究題目：環境経済学

指導目標：今後社会に出る際に、英語でのコミュニケーションが役立つことを知ってもらい、積極的に学が楽しさを感じてもらえるような授業を志しています。

国際交流センター

辰己 真由美



To future and current international students, welcome to Onomichi City University! International Office provides services such as helping with study abroad procedures and advising international students about study and life in Japan. Please take advantage of these services. Also, we hold various cultural activities and events throughout the year to promote cultural exchange between international students, Japanese students, and the local community.

We are looking forward to meeting you!

希望交換留学或已派遣到本校の各位留学生，尾道市立大学欢迎你！本中心负责提供办理有关留学的各种手续，及在日学习生活的指导和咨询等服务。请大家积极利用。此外，每年在校内外举办各种各样的文化交流活动，促进留学生与日本学生，本地区居民的文化交流。期待大家积极参与！

海外留学体験談



FTU（ベトナム）
交換留学（1年間）

経済情報学科4年
籾本 英之

私は2023年3月から2024年1月までの約10か月間、ベトナムのハノイにある貿易大学(FTU)に留学していました。私が留学先にFTUを選んだ理由は、ベトナムで最も歴史ある経済学部を持ち、ドイツ、フランス、スウェーデン、ロシア、韓国などの多くの国と提携しているからです。

FTUには経済や経営に関する専門的な授業だけでなく、異文化理解やコミュニケーション能力を向上させるような授業もあります。また、ハノイは経済発展が著しく世界で最も活気がある都市の一つであり、西欧諸国と比べて物価が安く親日国で治安がそれほど悪くないことも決め手となりました。私はFTUへの留学を通して、異文化理解やコミュニケーション能力を高めることができました。FTUは国際交流にも力を入れており、他国からの留学生や教員とも交流する機会が豊富です。これらの経験を通して、自分の文化や価値観を見直すとともに、異なる文化や考え方を尊重する姿勢を身につけることができました。FTUへの留学は私にとって貴重な学びの場となりました。



国際交流イベント



台湾 国立嘉義大学との合同カンファレンス



国際交流センター講演会



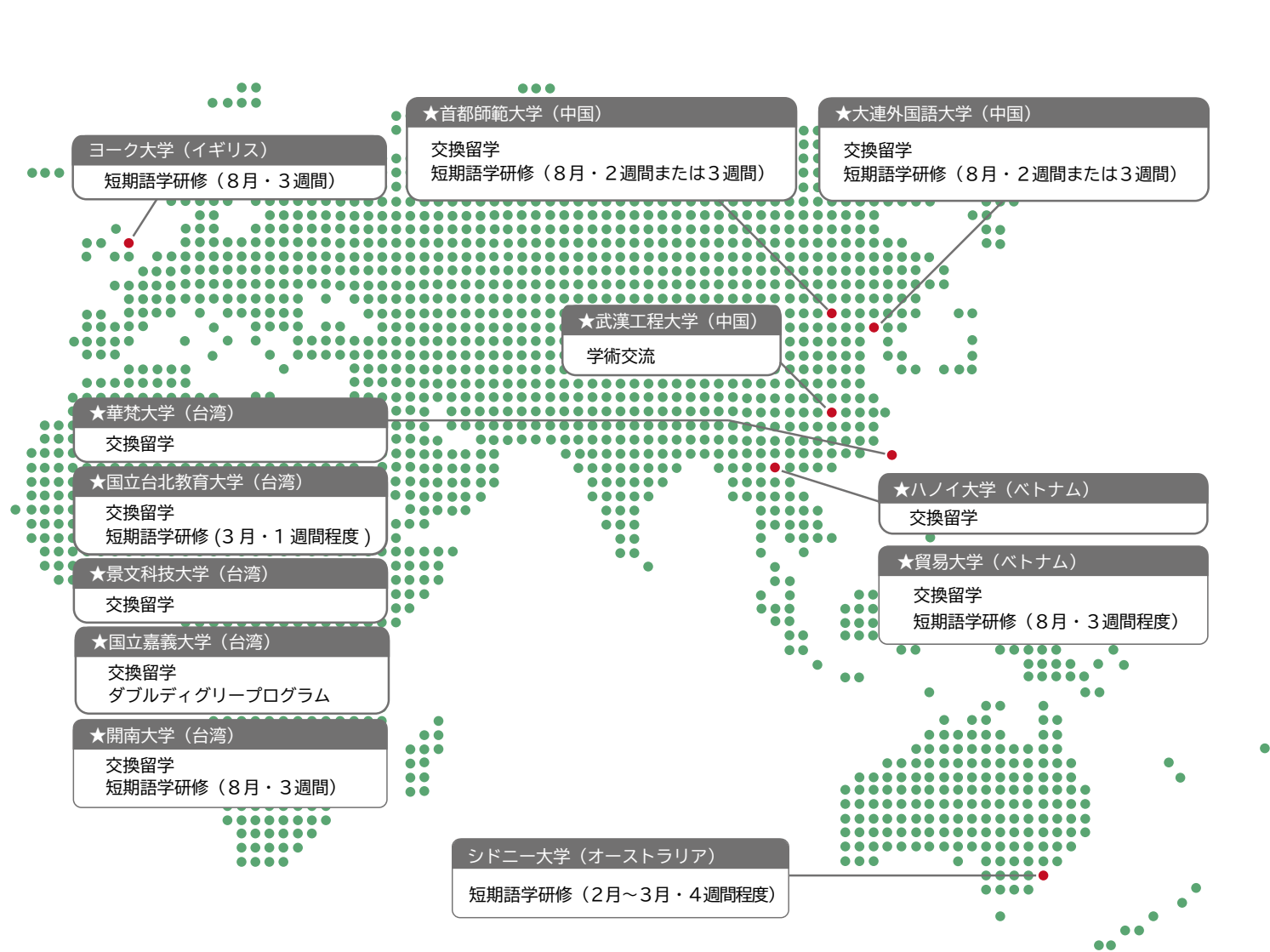
留学生歓迎会



One day trip (国際交流のための1日研修)



卒業予定留学生による報告会及び地域の方々との交流会



★・・・海外協定校



協定校等における海外短期語学研修

本学では、協定を結んでいる海外の大学をはじめとして、短期の語学研修に参加できる制度を用意しています。渡航に必要な知識や理解を深めるため引率教員と事前学習を実施し、帰国後には事後学習や報告会を開催するなど、安全で実りのある研修になるようサポート体制を充実させています。また、本学後援会が研修費用の助成を行う制度も用意しています。

訪問先での研修プログラムは大学ごとに異なりますが、語学の学習のほか、文化体験や地元企業への訪問、さらには休日に景勝地を訪れるツアーが用意されている等、どのプログラムも工夫が凝らされています。外国語の習得のみを目的としたものではなく、ホストファミリーや現地の学生、市民などの様々な人々との交流を通じ、国際的な視野を持つグローバルな人材育成を目指した内容となっているのが特徴です。

尾道市立大学では教職員が連携して学生のみなさんのサポートにあたります。連携の拠点となるのが、医務室と学生相談室です。医務室では心身の健康をサポートする健康相談と障がいがある学生や困りごとがある学生の修学サポートの活動を行っています。充実した学生生活が送れるよう、学生のみなさんを応援しています。

医務室 専門スタッフ(看護師・障がい学生支援コーディネーター)が在室しています。

●健康相談

病気やケガ、様々な不安やストレスについてお話を伺います。



●修学サポート

障がいがある学生、困りごとがある学生の大学生活をサポートします。



学生相談室

心理カウンセラー(公認心理師・臨床心理士)によるカウンセリングを行います。
学生本人やご家族からの相談に応じます。



関係学生団体「おのだいピアサポ」が
学生の視点でピア・サポート活動を展開しています。



新入生対象履修相談会



おのまる

5つの柱による進路支援

●キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターでは、求人情報、企業情報、企業説明会の情報など「就職活動に関する情報」や、進学や資格取得など「進路全般に関する情報」を提供しています。学生の進路相談に応じるスタッフが常駐し、進路相談のほかに履歴書やエントリーシートの添削、面接指導など進路に関することなら何でも相談に応じています。また、キャリアカウンセラーによるカウンセリングも定期的に実施しています。

●キャリア開発委員会

キャリア開発委員会では、定期的に就職ガイダンス、セミナーを開催することにより、学生の就職に対する意識の高揚を図るとともに、円滑な就職活動を行うことができるよう支援しています。また、地元企業ガイダンスや学内個別企業説明会、業界研究会を開催し、学生の就職活動がより具体的になるよう支援をしています。

●課外講座による実践的指導

全学年を対象に課外講座を開講することにより、学生の進路選択、就職活動の一助となるようなサポートを行っています。

- ・公務員受験対策講座（2・3年生向け）
「教養分野コース」、「専門分野コース」（行政系）をラインナップし、幅広い採用試験に対応できる講座となっています。
- ・簿記検定対策講座
日本商工会議所簿記検定合格の支援をしています。
- ・情報技術資格対策講座
MOS・Word、MOS・Excel、の講座を開設しています。

●教職員による積極支援

全教職員が、チューター制をはじめとする少人数教育によりきめ細やかな指導を行うとともに、求人開拓や関係強化のための企業訪問を実施して、積極的に支援しています。

●キャリア教育

授業科目として、1年生向け「キャリア形成入門」と、2・3年生向け「キャリア形成演習」「インターンシップ」を開講しています。「キャリア形成入門」では、卒業後の社会的自立に向けて、自分らしい生き方や働き方を考え、主体的に取り組む姿勢を身につけます。「キャリア形成演習」では、実際の企業・団体での経営課題にチームで取り組み、プレゼンテーション資料を作成し発表することで、就業力や社会人基礎力を身につけます。「インターンシップ」では、実社会での就業体験が実りあるものとなるよう、事前学習・事後学習を通じて、職業観・就業意識を養い、適切な職業選択に役立てるとともに、専門教育との接続を意識したプログラムの開発をめざします。



キャリアサポートセンター 特任講師

八木 力俊

担当科目：「キャリア形成入門」「キャリア形成演習」「インターンシップ」

研究テーマ：「組織開発」、「インターナル・マーケティング」、「キャリア形成」

進路支援の取り組み

進路選択は学生の人生に大きな影響を与える重要なことです。

キャリアサポートセンターでは、学生がやりたい仕事に就き、いかに自己実現できるかを基本とし、一人一人に合わせた適切な進路指導をします。近年、就労意識が低いままで入社したり、入社後にミスマッチが発覚したり、若者の早期離職が社会問題となっています。本学では社会人基礎力を育成するカリキュラムを取り込んだガイダンスやセミナーを開催し、就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立が図れる能力の育成をしています。教職員が一体となり、就職相談、求人開拓、情報提供を通して学生の進路選択を万全のサポート体制で支援していきます。



①インターンシップ

受入先企業と本学の合意で進める独自のインターンシップを行っています。2023年度は55名の学生が参加し、実習を無事終えることができました。三省合意で定義された内容に基づく就業体験を推奨し、企業との共同による「パーパス（企業の存在価値）を中心とした内的キャリア（やりがい）のマッチングを図るインターンシップ」を目指して、プログラム内容の充実を図ってまいります。また、事前学習、事後学習、報告会を組み合わせた通年のプログラムを通じて、学生の専門研究分野に関する認識を高めるだけでなく、職業観・職業意識を育成し、適切な職業選択を促進します。

②学内企業説明会

11月に業界研究会をオンラインで開催しました。オンラインならではの特性を生かして、幅広い地域・業界の企業に参加いただいています。

この業界研究会は、本学学生にとって企業の採用担当者との貴重な面談の機会となっており、就職活動への意欲醸成につながっています。また地元の企業を招いた対面形式での業界研究会も開催し、幅広く情報を収集できる機会を学生に提供しています。

③就職ガイダンス・業界セミナー・各種実践講座

主に3年生を対象に「就職ガイダンス」を開講しています。就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、社会人基礎力を育成できるカリキュラムとなっており、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立を図れる能力を育成する内容となっています。また、2年生、3年生を対象に企業の担当者を招いて、学内業界セミナーを開催しています。学生の職業観や勤労観の育成を図り、学生が産業や職業に関する知識や理解を深めるよい機会となっています。その他実践力を身に付けるためにSPI（筆記試験）対策講座や自己分析・エントリーシート作成講座、面接対策講座などを実施しています。

④就職・進路相談

キャリアサポートセンター職員や専門のキャリアカウンセラーによる進路相談を始め、エントリーシートや履歴書添削、面接練習を含む個別相談・指導を行っています。

⑤市内企業との連携

尾道市内の企業と学生との情報交換を目的として、市内企業を対象としたイベントやガイダンスを開催しています。3年生のみならず全学年を対象とし、学生に地元企業を紹介するだけの場ではなく、様々な業種・職種などを深く学習していく業界・企業研究という側面も持たせています。

就職状況

2023年度卒業生の就職率（就職希望者のうち、就職し得たもの）は96.9％（昨年度94.6％）、就職者数は250名（昨年度244名）となっています。

学科別の状況は、次のようになっています。

	卒業者	就職希望者	就職者	就職率
経済情報学科	217	197	193	98.0％（昨年度 96.7％）
日本文学科	44	36	33	91.7％（昨年度 95.3％）
美術学科	57	25	24	96.0％（昨年度 82.4％）
合計	318	258	250	96.9％（昨年度 94.6％）

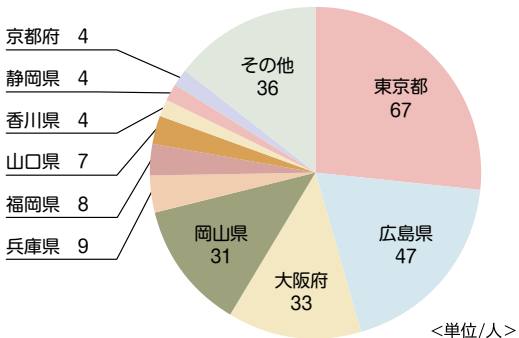
経済情報学科 98.0%

日本文学科 91.7%

美術学科 96.0%

（1）地域別動向

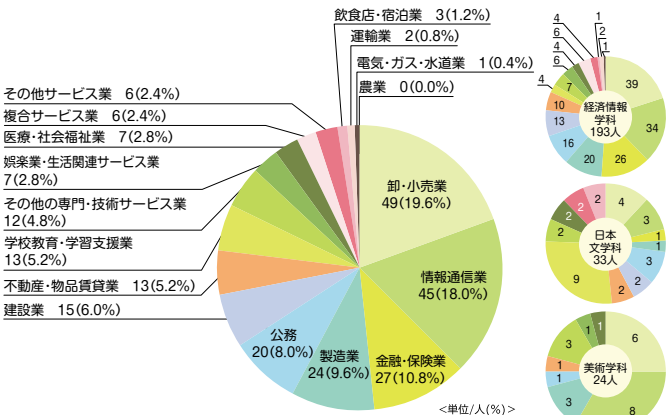
就職先を地域別にみると、首都圏及び大都市圏への就職者数が東京都67名（昨年度58名）、大阪府33名（昨年度18名）と、全体の40.0％（昨年度31.1％）を占めています。また97名が広島県・岡山県等の中国四国地域へ就職をしており、こちらも全体の38.8％（昨年度43.0％）を占めています。これは、尾道市を含む中国・四国各地域の発展に貢献できる人材を輩出するだけでなく、大都市圏でも活躍できる人材を育成するという就職支援の方針として取り組んできた結果です。



（2）業種別動向

業種別の就職先では、卸・小売業（19.6％）、情報通信業（18.0％）、金融・保険業（10.8％）、製造業（9.6％）で約6割を占めています。

学科別にみると、経済情報学科は、情報通信業、卸・小売業、金融・保険業が上位を占めています。日本文学科は、公務、学校教育・学習支援業、卸・小売業が上位を占めています。美術学科は、卸・小売業の他、情報系企業でのグラフィックデザイナーなど自らの専門性を活かした分野への進出が見られます。



主な就職先（過去3年間の就職先から抜粋）

〔株式会社〕等省略、順不同

経済情報学部 経済情報学科

- 建設業 積水ハウス 一条工務店 九電工 JFE プラントエンジ 大和ハウス工業
- 製造業 三菱電機ビルソリューションズ シギヤ精機製作所 シャープ タカラスタンダード 三浦工業
- 電気・ガス・熱供給・水道業 広島ガス
- 情報通信業 両備システムズ 大塚商会 ANA システムズ 富士通 Japan ドコモCS 中国 日立ソリューションズ西日本
- 運輸業 近畿日本鉄道 中部スカイサポート 西日本旅客鉄道
- 卸・小売業 アイリスオーヤマ ハローズ つばめガス リコージャパン 大創産業
- 金融・保険業 広島銀行 中国銀行 百十四銀行 伊予銀行 しまなみ信用金庫 呉信用金庫 オリエントコーポレーション 阿波銀行 セブン銀行 広島県中小企業共済協同組合 静岡銀行 トマト銀行 山陰合同銀行 清水銀行 十八親和銀行 徳島県信用保証協会 明治安田生命保険
- 不動産・物品賃貸業 長谷エリアルエステート 穴吹工務店 積水ハウス不動産中国四国
- 専門・技術サービス業 コトリホールディングス KPMG 税理士法人 山口フィナンシャルグループ
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽 アパホテル 星野リゾート・マネジメント TBC グループ ミュゼプラチナム
- 教育・学習支援業 福山大学 兵庫県内公立高等学校 広島県内公立高等学校
- 医療・福祉 日本赤十字社 広島市社会福祉事業団 社会福祉法人尾道さつき会 創心會
- 複合サービス業 三原市農業協同組合 山口県農業協同組合 JA 淡路日の出 晴れの国岡山農業協同組合 JA 大分 JA 岡山市 福山市農業協同組合
- 公務 国税専門官 尾道市 広島市 世羅町役場 香川県 岩国市 淡路市 和気町 福知山市 松坂市 浅口市 美馬市 四国中央市消防本部 広島県 徳島県（警察事務） 大分県 福山市 八幡浜市 三豊市 真庭市 安芸太田町 吉賀町 兵庫県警 東京消防庁 京都市消防局 自衛隊一般曹候補生 財務専門官 愛媛県 松山市 三原市 美祢市 広島県警 長野県警

芸術文化学部 日本文学科

- 建設業 ナカタ・マック・コーポレーション 大和ハウス工業
- 製造業 アンデルセングループ 菅公学生服
- 情報通信業 フラッグ 日本ナレッジ 西鉄情報システム
- 卸・小売業 メガネトップ ザグザグ 福山三菱自動車販売 ハローズ
- 金融・保険業 明治安田生命保険 広島県信用保証協会 笠岡信用組合
- 不動産・物品賃貸業 ニッポンレンタカーアーバンネット レント タカハシ
- 専門・技術サービス業 山口フィナンシャルグループ アイ・ケイ・ケイホールディングス 松屋フーズホールディングス
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽 共立メンテナンス 但馬屋旅館 ヘルモニー
- 教育・学習支援業 広島県公立中学校 群馬県公立中学校 福岡市公立中学校 尾道学園中・高等学校 琉球大学 英真学園 神戸市内公立中学校 福井県公立中学校 宮崎県内公立中学校 長崎県内公立中学校 広島市教育委員会
- 医療・福祉 大阪市民病院機構 オールケア・グループ
- その他のサービス業 全日警
- 公務 広島県（警察事務） 京都府（学校事務） 浅口市 日向市 浅口市 垂水市

芸術文化学部 美術学科

- 製造業 タカラトミー 大阪印刷 キャステム サンエス
- 情報通信業 マーブリングプランニング スピッカート アバンテック グライド クリーク・アンド・リバー社 ディービーエヌ
- 卸・小売業 宮地電機 キャン アミーゴ イズミ ヤマダホールディングス イオン九州
- 不動産・物品賃貸業 ディーケービー
- 専門・技術サービス業 チトセアート アイディーエイ アドブレーン 東京映像美術 ジェイティープランニング モノクラム EOTA
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽 ローズガーデン 頼スコレ・コーポレーション シーエスシーサービス イズミ・フード・サービス
- 教育・学習支援業 広島県内公立高等学校 山口県内公立中学校 高松工芸高等学校 徳島県立名西高等学校 大阪府豊能地区中学校 尾道市立美術館
- 医療・福祉 創樹会
- その他のサービス業 尾道空き家再生プロジェクト イマジカデジタルスケープ 第一技研 益田商工会議所
- 公務 陸上自衛隊 尾道市



岩国市役所

経済情報学科

有馬 拓海

出身校：
山口県立高森高等学校

私は民間企業を受けず公務員一本に絞り、就職活動を行いました。一般的に、公務員は採用の合否が確定する時期が民間企業よりも遅いため、周囲の友人は内定の通知が届く中で焦りや不安を感じるようになりました。このような焦燥感は公務員志望の方に限らず、感じ得ることだと思います。

私がそんな状況を打破できたのは、きっぱり気持ちを割り切ってオンオフの切り替えが出来たからだと思っています。常に頑張りが続いても、落ち着くことが出来ずに視野が狭まり本来の実力が発揮できない悪循環に陥ってしまいます。そこで「今日はここまでにして休む日にしよう」と自分にプレッシャーをかけずにオフの時間を作ることが大事だと実感しました。

また、自分について、志望する自治体や企業について多くの視点から知ることが重要です。自己分析して自分の長所を見出すことも1つの手段ですが、家族視点、友人視点から見た自分の長所を聞くことで、より自信の持てる長所を見つけることに繋がります。志望する自治体についても、その自治体が属する地域に住んでいる人視点や別の地域に住んでいる人視点など多くの視点から知ることが、俯瞰的に分析出来て面接やエントリーシート作成の参考になると思います。

最後に、公務員試験は一次試験の筆記試験を通過することが前提です。試験勉強は一番面白くない辛いことだと思います。しかし、耐えて踏ん張った分だけ試験当日落ち着いて臨めます。応援しています。



株式会社広島銀行

経済情報学科

吉野 綾華

出身校：
広島県立祇園北高等学校

私が就職活動を通して大切だと感じたことは「誰かに頼る」事です。就職活動を始めた当初は、就職活動は自分一人でやるものだと思っていました。その為、将来の夢が無かった私は自分の強みは何なのか、自分はどのような仕事に向いているのか分からず、ただエントリーシートの提出や面接をこなすだけの毎日でした。その為、選考で落ちてしまった時には原因が分からず抱え込んでしまうことも多くありました。そんな中、私は「人に頼る」一步を踏み出しました。友人や先輩とは、毎日のように面接練習や自己分析を行いました。キャリアサポートセンターの方々には、エントリーシートの添削や毎週のように面接練習を行って頂きたくさんのアドバイスを頂きました。また、就職活動を行う中での不安や悩みも聞いて頂き心の支えになりました。その結果、就職活動を通し自分では気づかなかった強みや他人から見た自分の印象など自分の武器を知ることができました。

就職活動をする中で、選考が思い通りに行かず悩んだり、自己分析で自分について思い詰めたりすることもあるかもしれません。その時は、友人や家族、キャリアサポートセンターの方々に頼ってみてください。自分では、気づかなかった新たな学びがあると思います。

最後になりますが、自分のペースでたくさんの人を頼りながら頑張ってください。皆さんが輝ける企業とすてきなご縁があることを祈っています。



株式会社グラフィック

日本文学科

国則 達也

出身校：
大阪府立四条畷高等学校

大学の就職活動では高校までの受験と違い、「皆と違うこととして、自由にアピールすること」を求められます。つまり、自分なりの個性や強みといったものです。

受験では全員が前へならえ右向け右で、同じ科目を勉強し、共通の問題を解き、得点という画一的な指標で合否を判定します。

しかし就活では、会社によって評価したり重視したりする点も異なれば、学生側が自分のどこをアピールするのも自由なのです。（学力試験もあるにはありますが、それは全体のほんの一部でしかありません。）

そこで大事なのは、大学生活でいかに豊かな経験や学びを経て、自分なりの個性や強みを見つけて育んだりしていけるかということなのです。

本文章を読む多くの方にとっては大学での就活なんて遠い話に聞こえるかもしれませんが。入学してからしばらくはそれで全然かまいません。大学生活を存分に楽しんでください。自分の興味や得意分野を軸に色々なことに挑戦し、様々なことを学び、経験し、キャンパスライフを彩る自分だけの色を作っていくてください。尾道という自然と情緒が溢れる唯一無二の土地が、そのような営みをさらに豊かなものにするのに一役買ってくれるでしょう。

そのなかでほんのすこしでも、将来のことを頭の片隅に留めてもらえれば幸いです。大学生活前半で出来上がった「自分だけの色」が、後半から始まる進路選択や就職活動において鍵になってくるはずです。

一年後、尾大の門をぐる皆さんが実りある大学生活を過ごしてゆけることを願っております。



株式会社タカラトミー

美術学科

大崎 日菜

出身校：
広島県立安古市高等学校

私は大学の3年生の後期に、『もっとこい！こい！広島ゲーム』というボードゲームを制作しました。そのゲームが私と就職先の会社を結びつけてくれました。

大学2年生の私は、自分のやりたいことを見失うときがよくありました。しかし、3年生が終わろうとする頃、ボードゲーム制作を通して、自分に合っているのはおもちゃ制作だと思いました。そして「1から物をつくる仕事」、つまり商品の企画や開発がやりたいのだと気づいたのです。

それからは、自分に合っていること、やりたいことにマッチする会社をひたすら探しました。

受ける会社を決めた後は、実際にゲームを面接会場に持参し、プレゼンテーションを行いました。就活中に感じたことは、自分の作品やこれまでの経験を伝えるのはもちろん、ありのままの自分を魅せることが何よりも重要だということです。

そして、面接では『易しい言葉でわかりやすく』。これが私が共有したい、一番大切なキーワードです。

私を支えてくれた友人、家族、先生方に心から感謝しています。4年間の大学生活の中で、自分の「やりたい！」を発見することは、1人では為し得ないことでした。

最後に、就職活動は様々な会社と出会い、自分の可能性を広げる素敵な時間です。

どうか楽しむことを忘れずに！

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、物事により創造的に立ち向かえる優れた創造性や判断力、それに裏付けられた専門的知識・能力や高い見識などの育成に特化した、実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しました。学部教育で培われた専門的素養のある人材を、よりレベルを高めた学修と研究への取組により、高度の能力を有する専門的職業人や研究者等へ鍛え上げると同時に、広く時代と地域の要請に応えられる人材を育成する研究拠点を目指します。

経済情報研究科 経済情報専攻 (修士課程)

入学定員 8名
修業年限 2年
学 位 修士(経済情報)

経済と企業活動のグローバル化と少子高齢化、さらに情報化社会の到来等により、学修しなければならない事柄の高度化、専門化や多岐化が進んでいます。一方では学際的な研究が必要であり、そのことが大学院教育に新しい課題を提供しています。まず、大学院経済情報研究科(修士課程)は、経済・経営・情報科学という本来は異なった3分野の連携による高度な専門教育を提供し、学際的な研究を可能にしています。しかも、地域企業の経営者・就業者、地域行政担当者、および商業科教員等の社会人のためのリカレント教育や、情報処理能力に優れた人材の養成や税理士志望者の受入れ等の要請にも応えることを目指しています。すなわち、学問的裏づけがあり、かつ実践的問題解決能力をも備えた人材の育成が、本研究科の教育の狙いとなっています。なお、資格取得等に関しては、修士学位取得者に対する教職課程専修免許状(商業)と、税理士試験における「修士学位による試験科目免除」制度があります。商業に関する教科の修得等、一定の基準を満たせば、資格取得が可能となっています。

日本文学研究科 日本文学専攻 (修士課程)

入学定員 6名
修業年限 2年
学 位 修士(日本文学)

日本文学研究科の教育目標は、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解し、その理解のもとに国際的な感覚を身に着け、異文化を共有できる人、また、そうした能力により、社会活動や文化活動に指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を育成することにあります。

具体的には、日本文学・日本語学・漢文学等に関する深い学識と高度な研究方法を修得し、豊かな人間性と高い倫理観をもち、本研究科で身につけた学識と研究能力を生かせる人です。

そのために、日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点を養い、基幹科目として日本文学、日本語学、漢文学に関する深い学識と高度な研究方法を修得します。言語文化の探究と創造に取り組むため、専門科目として、日本古典文学、近代文学、日本語学に加え、周辺領域である、日本語音律、国語教育学、米文学、比較文学、地域文学、文芸創作の特論をおこなっています。より広範な社会との連携のなかで言語文化の探究と創造に取り組むために、語学実践、英語学、心理学の特論を関連科目としておこなっています。

美術研究科 美術専攻 (修士課程)

絵画研究分野(日本画・油画)、デザイン研究分野
入学定員 12名
修業年限 2年
学 位 修士(美術)

美術研究科では持続する創作活動を行うことができるよう、学部と大学院修士課程とを合わせた6年間のカリキュラムを一貫化し、高度な創作能力を育成するための体系的な教育を行っています。

授業科目は、芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を教授し、実技と演習によって構成される研究分野開設科目と合わせて美術の理論と実践の有機的な連携を図っています。

絵画研究分野

日本画と油画に関する制作・研究を行います。

- ・日本画では古典作品の表現、技術および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図ります。
- ・油画では、創作活動の充実を図るため各自のテーマを踏まえ、独自の絵画表現を追及し、また必要となる技法や素材の研究を促します。

デザイン研究分野

広い視野と柔軟な観察力をもって多岐にわたるデザインの領域を理解できるように、6人の専門領域の指導教員から多様な価値観を学び、さらに外部講師による講義、演習を体験し、各自の研究を多角的な視点から考察し、研究します。

Production	Onomichi City University Committee of public relations	Campusmap Design	HATA Yuina (Alumna, Department of Art & Design)
Chief Editor	OKAMOTO Shunsuke (Associate professor: Department of Economics, Management & Information Science)	Accessmap Design	HIRABAYASHI Misaki & HASEGAWA Saya (Alumna, Onomichi City University Graduate Program: Department of Art & Design)
Art Direction	ITO Asako(Associate professor :Department of Art & Design)	Print	ART PRINTING co.,Ltd
Editorial Design	ONO Tamaki (Professor: Department of Art & Design) HAYASHI Hiroshi (Associate professor: Department of Art & Design)		
Editor	ONO Tamaki (Professor: Department of Art & Design) FUJIKAWA Yoshikazu (Professor: Department of Japanese Literature) WAKAMATSU Kenji(Clerical Staff: Planning & Public Relations section) MURAKAMI Norihiko(Clerical Staff: Planning & Public Relations section) MAESAKO Sanae (Clerical Staff: Planning & Public Relations section)	©Onomichi City University 2024	